

2024年度事業計画について

2024年4月1日から

2025年3月31日まで

公益財団法人

九電みらい財団

2024年度は、環境事業として「環境保全活動」、「植林活動」、「環境教育活動」及び「次世代向け環境活動支援」を行うほか、奨学金事業として「奨学金の給付」を実施する。

I 環境事業

1 坊ガツル湿原一帯における環境保全活動

- 坊ガツル湿原（大分県竹田市）一帯において、ラムサール条約で求められている「保全」と「活用」の観点から活動を実施
 - ・ 保全面では、坊ガツル湿原の保全およびその一帯に生息する希少植物保護のため、環境省や自治体、地元団体等とともに、湿原の野焼きや希少植物の保護、平治岳のミヤマキリシマ植生保護及び登山道整備等の活動を実施
 - ・ 活用面では、平治岳のミヤマキリシマの観光資源化を目指し、開花範囲の拡大に向けた北側斜面支障木伐採を継続実施

(1) 坊ガツル湿原野焼き活動

- 当財団と地域の方々等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団）」にて、実施時期や活動参加者等を決定（7月、翌年1月）

活 動	内 容	時 期	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼防止のための防火帯づくり	8月	各140名程度
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように刈った草を集め焼き払う	9月	
本焼き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防火帯の内側に火を入れ、湿原一帯を焼く ・ 野焼き活動の認知拡大に繋がる現地勉強会実施 	翌年3月	140名程度 30名程度

- リーダーの高齢化・固定化により野焼き活動が再び途絶えることがないように、リーダー養成研修を実施（15名程度）
 - ・ 講義及び実技研修ならびに本活動における受講経験者（現リーダー）の実技指導（OJT）により後継者育成を実施

活 動	講 義	実技研修	実技指導（OJT）
輪地切り	6月～7月 (3つの活動について共通実施)	6月～7月	8月
輪地焼き		—	9月
本焼き		—	翌年3月

(2) 坊ガツル湿原希少植物保護活動

内 容	時 期	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来植物を除去	7月	100名程度

(3) 平治岳ミヤマキリシマ植生保護および登山道整備活動

エリア	内 容	時 期	参加者
南側斜面	かん木（ミヤマキリシマの育成に支障となる低木）等を除去するとともに老朽化している登山道を整備	4月、 11月	各100名程度
北側斜面	かん木等を除去 ※急峻であるため委託で実施	11月～ 翌年3月	委託

2 九電みらいの森プロジェクト（植林活動）

- 環境教育や市民交流の拠点となる森づくりを目指して、地域と協働で植林等に取り組みながらカーボンニュートラルを推進
 - ・ 子どもたちや地域の方々と協働で森づくりに取り組むとともに、植林等の体験を通じた子どもたちへの環境教育を実施
 - ・ 環境教育の場や地域の憩いの場として活用できるよう、広場や園路等のフィールドを整備

(1) 「きりしま九電みらいの森」（鹿児島県霧島市）での活動

- 環境教育や地域の憩いの場として活用するためのフィールドを整備

内 容	時 期	備考
環境教育にて講話を実施するための広場や安全に歩行するための園路の整備等を実施	4～7月	委託

- 委託によるフィールド整備とともに、地域の皆さまとボランティア等による森づくり活動を実施

内 容	時 期	参加者
地域の方々や自治体・団体、九電グループ従業員を対象にボランティアを募集し、みどりのダム化 [※] 等の整備を実施 ※自然工法による、しがらみ・バイオスウェール作り	7月	100名程度

(2) 「いさはや九電みらいの森」(長崎県諫早市)での活動

- 植林した苗木の成長促進のため、下草刈り等の育林活動を実施

内 容	時 期	備 考
植林した苗木の成長を助けるため、下草刈を実施 ※植林地が急峻であるため委託で実施	9月	委託
地域の方々や自治体・団体、九電グループ従業員を対象にボランティアを募集し、除草・ツル切り等育林活動を実施	6月	60名程度

(3) 北部エリアでの活動

- 九州電力各支店等と連携のうえ、福岡県、佐賀県の自治体へ候補地に関する情報収集を行い、候補地を選定

3 環境教育活動

- 次世代の環境保全意識啓発のため、森での「現地環境教育」とVR（ヴァーチャルリアリティ）等のデジタル技術を活用した出前型「デジタル環境教育」を委託実施
 - ・ 現地環境教育は、「くじゅう九電の森」(大分県由布市)、「いさはや九電みらいの森」、「きりしま九電みらいの森」で、地球温暖化の現状（カーボンニュートラルを含む）や森林が持つ役割（CO₂抑制効果・生物多様性保全機能・水源涵養機能等）を説明する講話と、森林散策や各々の森の特性を活かした体験学習を実施
 - ・ デジタル環境教育は、地球温暖化の現状や森の役割の講話と、VRやCG等のデジタル技術を活用したコンテンツを用いて、間伐の疑似体験を実施
- 各教育の実施にあたっては、当財団HPやSNSでの告知、各自治体の教育委員会・各学校への案内、学校を通じたチラシ配布等により募集
- 企業や自治体、他団体が主催する次世代向けイベントにも出展し、教育機会を拡大

[現地環境教育]

対 象		場 所	教育内容	回数	時 期	参加者数
学校向け	九州全域の小学生	くじゅう	講話、散策、間伐	6回	5、9、10月	420名程度
		いさはや	講話、散策、下草刈り、観察	10回	6、10、11月	500名程度
		きりしま	講話、散策、間伐、植林みどりのダム化	4回	5、9月	200名程度
親子向け	九州全域の小学生とその保護者	くじゅう	講話、散策、間伐、木工	1回	5月	100名程度
		いさはや	講話、ネイチャーゲーム、観察	1回	11月	30名程度

※親子向け環境教育（くじゅう）は、材料費として参加費 500 円/人

[デジタル環境教育]

対 象	場 所	教育内容	回数	時 期	参加者数
九州全域の小学生	主に学校	講話、VR間伐	50回	通年	1,500名程度

4 次世代向けの環境活動支援

- 非営利団体が取り組む環境分野の次世代育成活動を対象に、公募により助成を実施

(1) 2024 年度助成事業の対象団体決定及び連携

- 応募があった 31 団体・32 活動のうち、有識者への意見照会を経て選考した 18 団体に助成を実施
- 助成先の団体の広報面での支援及び、活動を行う際に財団名の記載や財団ロゴを掲載した情報発信を依頼する等、財団のPRを実施

(2) 2025 年度助成事業の募集

- 「九電みらいの森」を活用した活動に対する助成枠の新設等、財団の認知拡大も見据えた募集内容を決定のうえ、財団ホームページ等を通じて募集し、有識者への意見照会を経て助成団体を決定

Ⅱ 奨学金事業

1 奨学金の給付

- 現行の奨学金に対する給付を実施

(1) 給付対象

① 学 生

- ・九州大学、九州電力及び九州電力送配電社員の子弟

② 私費留学生

- ・福岡大学、西南学院大学、九州工業大学

(2) 奨学金給与の額及び期間

給与額：月額2万円/人、年額22万円/人（8月は支給なし）

期 間：正規の修学期間を終了するときまでの最短期間

(3) 2024年度奨学生数及び給与総額

奨学生8名、176万円/年

Ⅲ 財団運営

持続的に財団を運営するとともに、諸活動を継続していくため、特に、森プロジェクトの展開や企業・自治体と連携した取り組み等を通して、地域・社会との接点を拡大し、情報発信も強化することで、財団の認知の更なる向上を図る。

1 情報発信

- 財団の認知向上を目的として、財団が保有するメディアを活用し、機会を捉えた情報発信を実施
 - ・ ホームページ、Facebook、Instagram、YouTube 等を活用し、活動の告知や報告を適宜発信するほか、SNSフォロワー獲得状況も踏まえた情報発信を実施
 - ・ Instagram を活用したフォトコンテストを1回実施。また、入選作品等をパネル化し、財団内外のイベントで展示するほか、カレンダー等に活用
 - ・ 賛助会会員各社等のSNSやホームページと連携した情報発信を実施
- マスメディアを活用した情報発信を協働先と連携して実施
 - ・ 財団活動時は、新聞社やテレビ局等の報道機関に対し取材案内を実施
 - ・ 九州電力株式会社と引き続き連携し、「きりしま九電みらいの森」のマスメディアを通じたプロモーションや関係施設におけるPRなど情報発信を実施
 - ・ 環境事業の協働先や助成先が活動を行う際、財団名の記載や財団ロゴを掲載した情報発信を要請

2 その他

- 財団設立10周年（2026年5月12日）に向けた取り組みを検討

[参考] 2024 年度活動スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境活動	環境保全	ミヤマキンポウゲ 植生保護 ★			希少植物 保護 ★	坊ガツル 輪地切り ★	坊ガツル 輪地焼き ★		ミヤマキンポウゲ 植生保護 ★				坊ガツル 本焼き ★
	植林	フィールド整備 (きりしま)											
	環境教育 (現地)	学校向け (くじゅう)	学校向け (いさはや)	学校向け (きりしま) ★親子向け (くじゅう)			学校向け (くじゅう)	学校向け (いさはや)	学校向け (いさはや)				
	環境教育 (デジタル)	学校向け											
次世代育成 支援活動	助成先贈呈式	助成先団体の活動取材							2025年度 助成先募集	2025年度 助成先選考			助成先 決定 ★
奨学金事業	奨学金の給付 ※8月を除く												
情報発信	ホームページ、SNS、メディア等を通じた発信、フォトコンテストパネル展示など												

以上